

CLEAR-DA 操作ガイド

2009/10/14

・本操作ガイドは「CLEAR-DA」の操作について記載しています。

- 目 次 -

1 . はじめに	2
2 . 動作要件	2
3 . 使用上のご注意	2
4 . CLEAR-DAのインストール	3
4 - 1 . インストール	3
4 - 2 . アンインストール	3
5 . CLEAR-DAの操作	4
5 - 1 . プログラムの起動	4
5 - 2 . CLEAR-DA画面	9
5 - 3 . 「おまかせ」で消去する	11
5 - 4 . 「自分で設定して消去する」で消去する	12
5 - 4 - 1 . 起動ハードディスク(全領域)	13
5 - 4 - 2 . その他の設定値の変更	14
5 - 4 - 3 . データ消去の開始	16
5 - 5 . データ消去画面	17
5 - 6 . データ消去終了画面	18
5 - 6 - 1 . 消去結果を確認する	18
5 - 6 - 2 . 再インストールの準備をする	19
5 - 6 - 3 . プログラムを終了する	19
6 . Q&A	20
7 . お問い合わせ等	20

1. はじめに

本製品は、情報漏えいを防ぐ目的のために、パソコン(PC/AT互換機)のハードディスクに記録されているデータを消去するツールです。ハードディスクに記録されているデータには、Windows データも含まれています。一度消去を行うと、消去したデータは復元不可能であり、Windows も再インストールしない限り使用できなくなります。データを消去する際には、そのパソコンおよびデータをそれ以上使用しなくてもよいことを十分確認してください。

2. 動作要件

- (1) 動作対応機種
PC/AT 互換機
*ただし、RAID コントローラが搭載されているマシンは動作対象外です。
- (2) 動作対応オペレーティングシステム(OS)
Windows 2000 Professional、Windows XP Professional/Home、Windows Vista、Windows 7
コンピュータの管理者権限が必要です。管理者権限を持つユーザ名でログインしてください。
- (3) 動作対応ハードディスク
IDE/Serial ATA/SCSI接続のHDD
BIOS(SCSI BIOS)で認識できる HDD が動作対象になります。
一部の PC では、OS リカバリーデータを BIOS で認識できないハードディスク領域に格納しています。この場合 OS リカバリーデータは消去されません。

3. 使用上のご注意

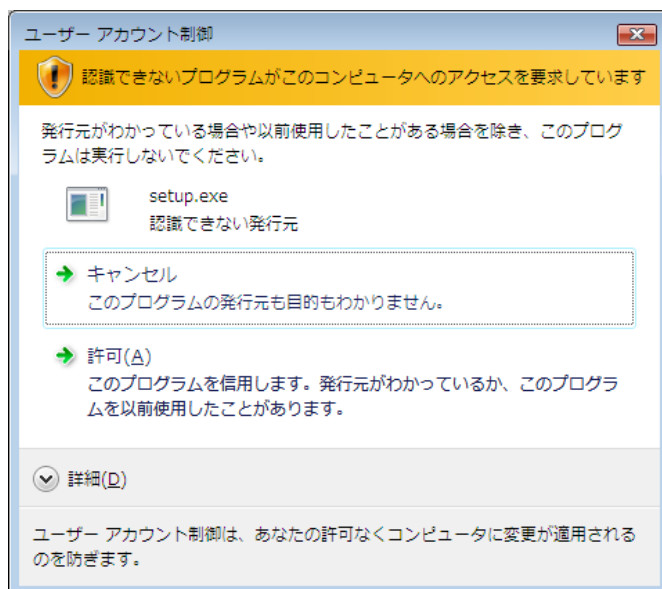
- (1) 本製品で消去操作を実行したディスクのデータは復元できません。Windows も起動できなくなり、再インストールが必要になります。データを消去するパソコンの選択には十分ご注意ください。
- (2) 消去実行時の時刻を自動記録しますので、消去作業の日時を管理する場合は、パソコンが表示する日時に問題がないことを確認し、必要に応じて再設定してください。
- (3) 本製品でエラーとなるセクタのデータに関しては、データの消去は行えません。ただし、エラーセクタをスキップして最後まで消去動作を実行します。
- (4) 本製品では消去前に検証ツールによる検証を行います。これはパソコンが消去動作を行えるかどうかの検証であり、実際の消去時にエラーが発生しないことを検証するものではありません。
- (5) 自動交替処理機能(HDD/BIOS)で交替される前の不良セクタのデータ消去は行えません。
- (6) 消去結果のログファイルは本製品の動作内容/結果/実行条件を記録するもので、それ自体はデータ消去を保証するものではありません。
- (7) 本製品によるデータ消去は数時間から数十時間かかる場合があります。そのため BIOS の省電力モードは必ず解除してください。省電力モードについてはパソコンのマニュアルを参照してください。
- (8) ノート PC 等は必ず純正 AC アダプターを接続してください。バッテリー駆動では、本製品は動作中に中断されデータ消去ができなくなる場合があります。また、複数 HDD を接続した場合等は電力不足にならないようにしてください。
- (9) 本製品でハードディスクデータ消去後、各パソコンのリカバリーCD 等で再インストールできます。ただし、一部の機種はインストール前に次の操作が必要な場合があります。
FDISK コマンドによるパーティションの構築
FORMAT コマンドによるハードディスクドライブのフォーマット
- (10) BIOS が 137GB 以上のハードディスクをサポートしていないマシンに 137GB 以上のハードディスクを接続している環境では、基本的に本製品での消去作業はできません。消去可能なケースもありますが、消去されるのは BIOS で認識される 137GB 以下の領域に限られます。

4. CLEAR-DAのインストール

CLEAR-DA を使用するため、プログラムをパソコンにインストールします。

4 - 1. インストール

- (1) エクスプローラで CLEAR-DA が格納されたフォルダを表示し、「SETUP.EXE」をダブルクリックするとインストールが始まります。(Windows Vista では下の図のとおりユーザアカウント制御の画面が表示される場合があります。「許可」を押すとインストールが始まります。Windows 7 では、同様に「はい」を押してください。)



- (2) 画面の指示によりインストールしてください。インストールが完了すると、デスクトップ画面に「CLEAR-DA」アイコンが表示されます。

4 - 2. アンインストール

Windows2000/XP の場合

1. 「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」(「プログラムの追加と削除」)をクリックします。
2. 「プログラムの変更と削除」の「現在インストールされているプログラム」の一覧から「CLEAR-DA General Edition」を選択して「削除」ボタンをクリックします。
3. 画面の指示に従い、アンインストールします。

Windows Vista/Windows 7 の場合

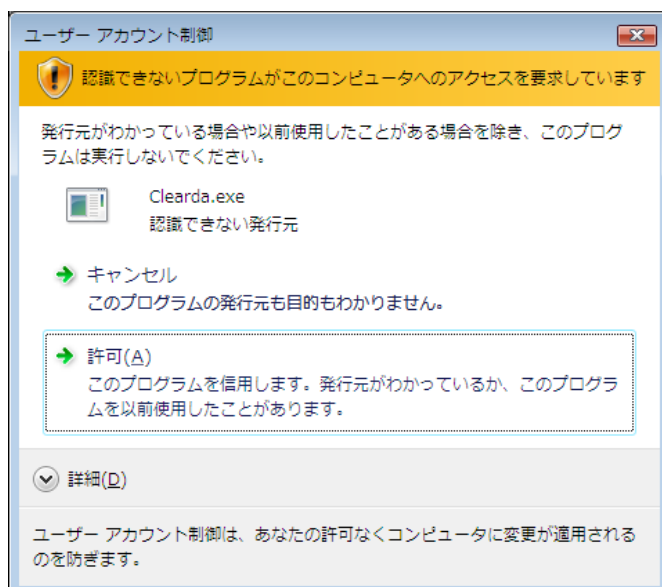
1. 「コントロールパネル」の「プログラムのアンインストール」をクリックします。
2. 「プログラムのアンインストールまたは変更」の一覧から「CLEAR-DA General Edition」を選択して「アンインストールと変更」をクリックします。
3. 「ユーザーアカウント制御」の画面が表示された場合、「続行」をクリックします。Windows 7 では、「はい」をクリックします。
4. 画面の指示に従い、アンインストールします。

5 . CLEAR-DAの操作

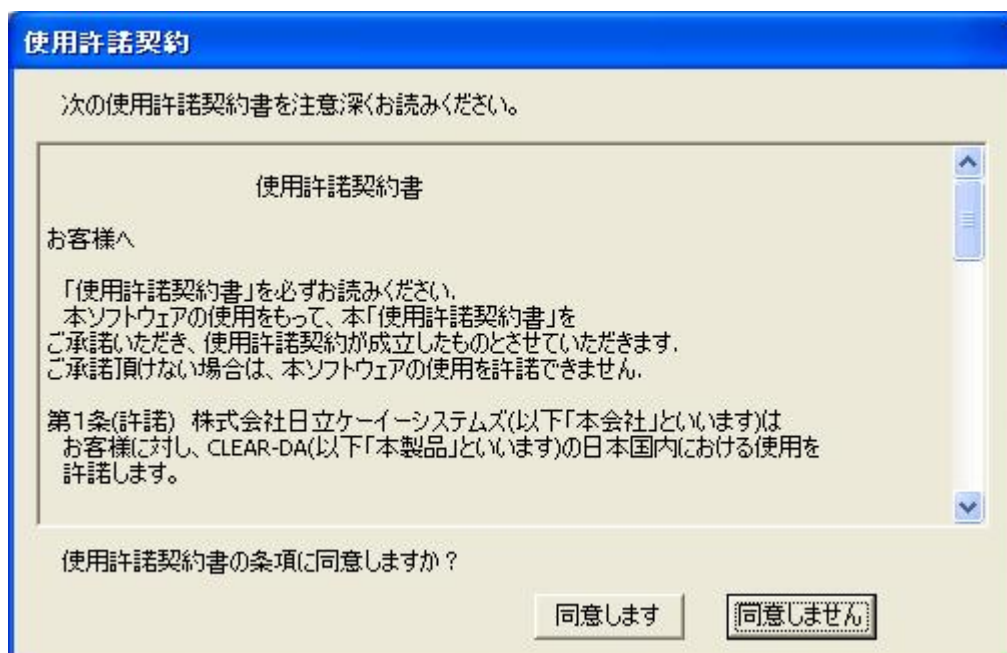
5 - 1 . プログラムの起動

- (1) デスクトップに表示されている「CLEAR-DA」アイコンをダブルクリックします。または、「スタート」メニューから、[すべてのプログラム]-[CLEAR-DA General Edition]-[CLEAR-DA]メニューを選択します。

Windows Vistaでは、下の画面のとおりユーザアカウント制御の画面が表示される場合があります。「許可」をクリックしてください。Windows 7では、同様に「はい」を押してください。



- (2) 使用許諾契約画面が表示されます。



使用許諾契約書の内容は、以下のとおりです。同意される場合には、「同意します」を選択してください。「同意しません」を選択すると、CLEAR-DA 画面を表示せずに終了します。

使用許諾契約書

第1条(許諾) 株式会社日立ケーイーシステムズ(以下「本会社」といいます)はお客様に対し、CLEAR-DA(以下「本製品」といいます)の日本国内における使用を許諾します。

第2条(著作権/財産的権利) 本製品は本会社の所有物であり、本製品の構造、編成及びコードは本会社の価値ある機密情報です。本製品は日本国の著作権法、アメリカ合衆国著作権法及び国際条約の条項によって保護されています。

第3条(複製および保全)

- (1)お客様は本製品の全部または一部を逆アセンブルまたは逆コンパイルする事はできません。
- (2)お客様はバックアップの目的でも本製品を複製することができません。
- (3)お客様は本製品をネットワークを通して使用することはできません。

第4条(担保責任) 本会社は本製品の使用に関し、お客様に生じた損失に対する賠償の責を負いません。

第5条(改変) お客様は本製品の全部若しくは一部を改変し、又は他のプログラムと結合してはならないものとします。

第6条(輸出等の処置)

(1)この契約は日本国内のみにおける使用を約定するものであり、お客様が本製品の全部または一部を単独、または他の製品と組合せ、若しくは他の製品の一部として直接又は間接に次の各号に該当する取扱いをする場合は本会社の文書による事前の同意を得るものとします。

(a)輸出するとき (b)海外へ持ち出すとき (c)非居住者へ提供するとき

(2)お客様が本会社の同意を得て前項の各号に該当する取扱いをする本製品のうち「外国為替及び外国貿易管理法」に定める「特定技術」に該当するものについては、お客様は日本国の輸出関連法規に従い必要な手続きをとるものとします。尚、米国輸出管理法など外国の輸出関連法規の適用を受け、所定の手続きが必要となる場合も同様です。

第7条(契約の解除)

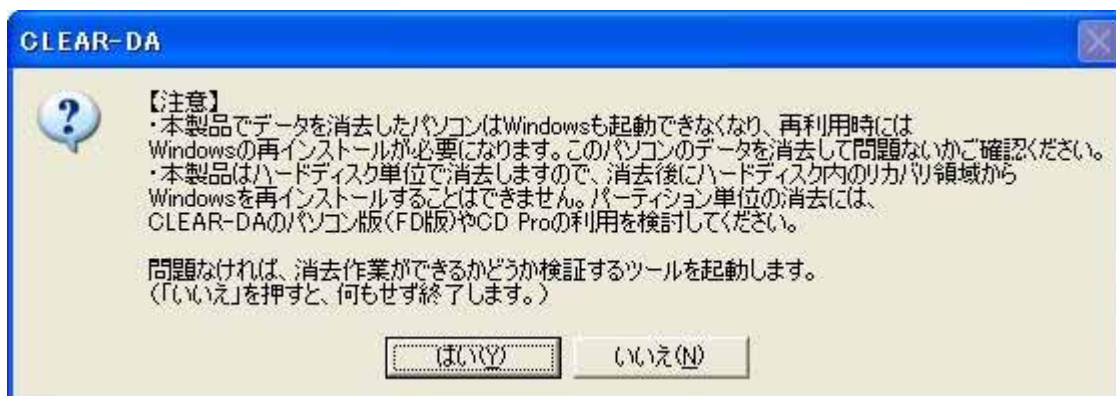
(1)お客様がこの契約に違反した場合、本会社はこの契約を解除し、お客様の本製品の使用を終了させることができます。

- (2)お客様は本製品を破棄する事で、この契約を終了させる事ができます。
- (3)前項の場合においても本会社は既に受け取った使用料をお客様に返還いたしません。

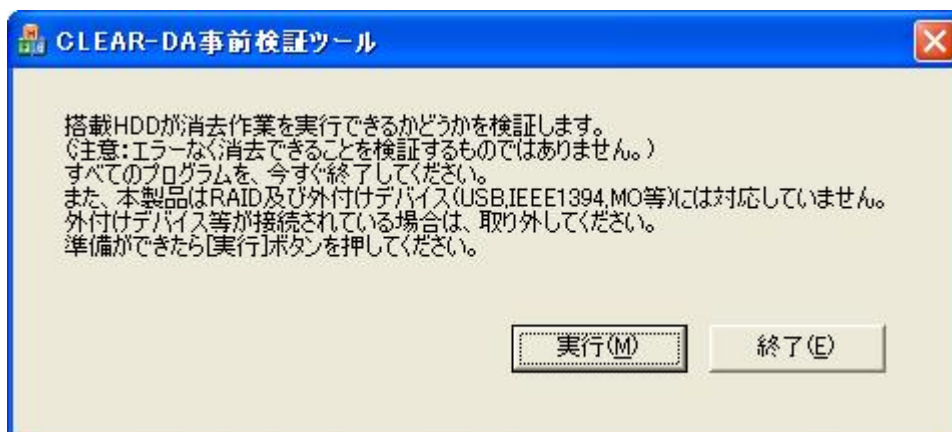
第8条(管轄裁判所) この契約に関する一切の紛争については、本会社の本社所在地を管轄する地方裁判所のみを管轄裁判所として処理するものとします。

第9条(協議事項) この契約の履行について疑義を生じた場合及びこの契約の定めのない事項については、お客様と弊社の双方で協議し、円滑に解決を図るものとします。

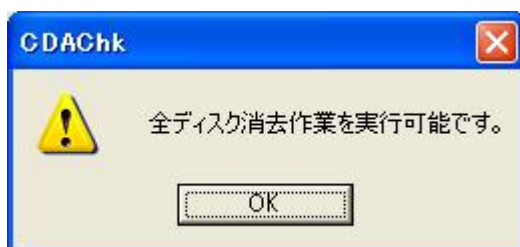
- (4) パソコンが消去動作を行えるかどうかを検証を行います。以下のメッセージが表示されますので、注意事項に問題がなければ「はい」を押してください。「いいえ」を押すと、消去作業を行わずに終了します。



- (5) CLEAR-DA 事前検証ツールが表示されますので、「実行」を押してください。「終了」を押すと、消去作業を行わずに終了します。



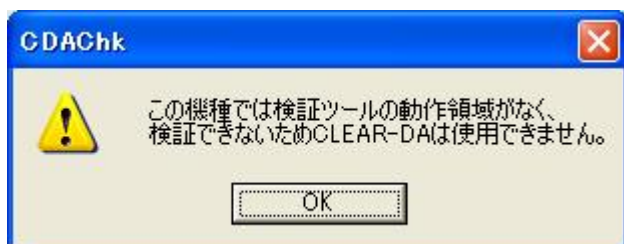
- (6) 以下のメッセージが表示された場合は、(11)のライセンス確認に進みます。



- (7) 以下のメッセージが表示された場合、一度 Windows を終了して検証を続ける必要があります。「はい」を選択した場合は次のページに進みます。「いいえ」を選択した場合は(5)に戻ります。



- (8) (7)で「はい」を選択したときに以下のメッセージが表示された場合は、検証作業が行えないため、消去作業は実行できません。(5)に戻りますので、終了ボタンを押してください。



* CLEAR-DA はハードディスク内の特殊な領域を使用して検証を行います。その領域が使用できない状態になっています。ハードディスクに問題があるということではありませんのでご注意ください。このメッセージが表示されるマシンでは、現在本ツールを使用することはできません。

- (9) Windows が一度終了し、パソコンが再起動します。検証が行われた後、またパソコンが再起動し、再び Windows 画面が表示されます。

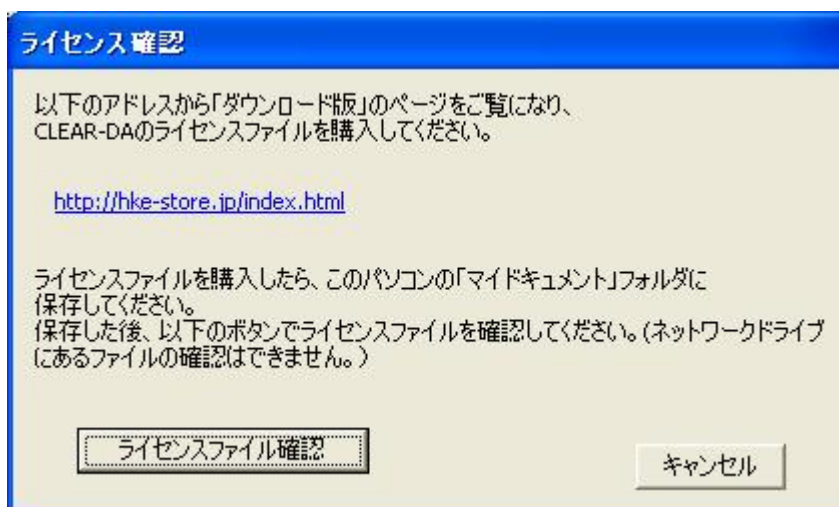
- (10) 以下のように検証結果が画面に表示されるまでお待ちください。検証の結果、問題あり(NG)のディスクがある場合は、CLEAR-DA による消去はできません。検証結果で「全ディスク消去できます。」と表示されている場合、OK ボタンを押すと次に進みます。



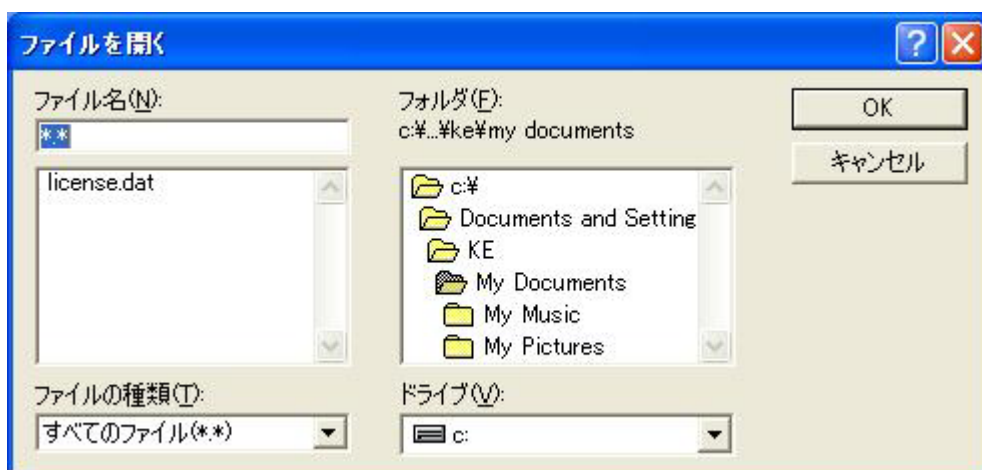
問題あり(NG)の場合、検証結果欄には以下の通り表示されます。

検証結果	内容
起動ディスクは消去できません。	起動ディスクの消去作業が実行できません。
起動ディスクは消去できますが、消去できないディスクが含まれています。	起動ディスク以外で、消去作業が実行できないディスクがありました。
BIOSが137GB以上のディスクをサポートしていないため消去できません。	137GB以上の容量を持つディスクがありますが、BIOSは137GBまでしか認識できません。
RAIDコントローラが存在します。本プログラムでは消去できません。	RAID装置はCLEAR-DAによる消去の対象外です。

- (11) ライセンスファイルの確認を行います。インターネットで(株)日立ケーイーシステムズ Web ショップのアドレス (<http://hke-store.jp/index.html>) にアクセスし、ライセンスファイルを購入してください。(ライセンスファイルは、1 回の消去操作毎に購入してください。)ライセンスファイルを購入したら、データ消去をするパソコンのマイドキュメントフォルダにファイルを保存し、「ライセンスファイル確認」ボタンを押してください。

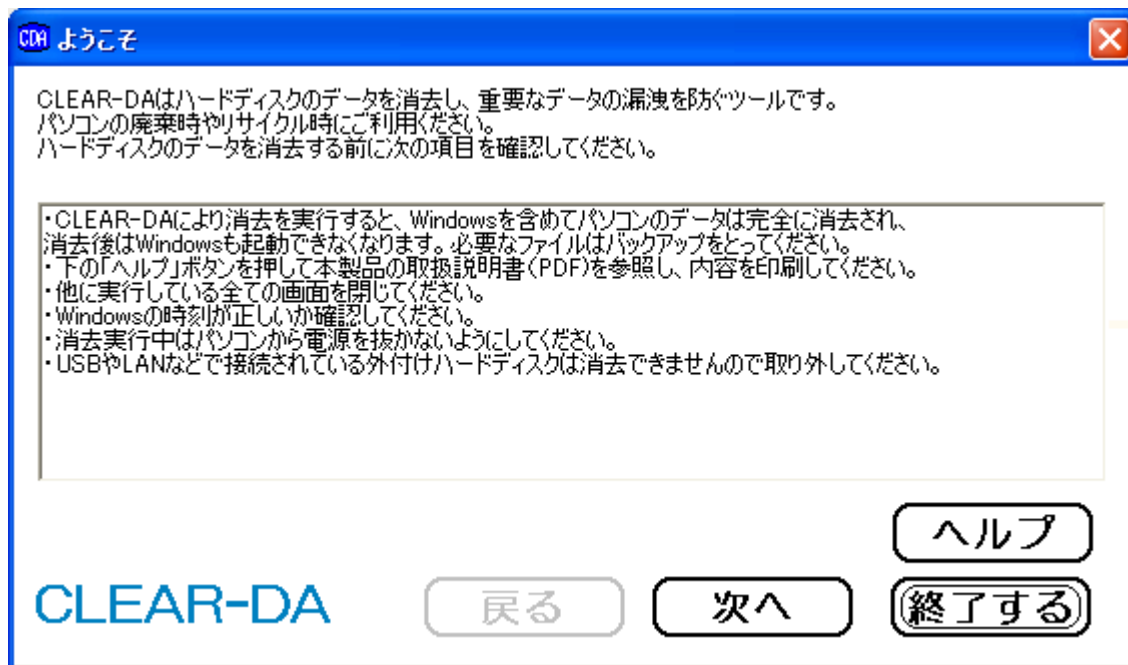


- (12) 以下の画面が開きますので、ライセンスファイルを選択し「OK」ボタンを押してください。正しいライセンスファイルが指定された場合、「ライセンスが確認できました。」とメッセージが表示され、CLEAR-DA 画面に進みます。

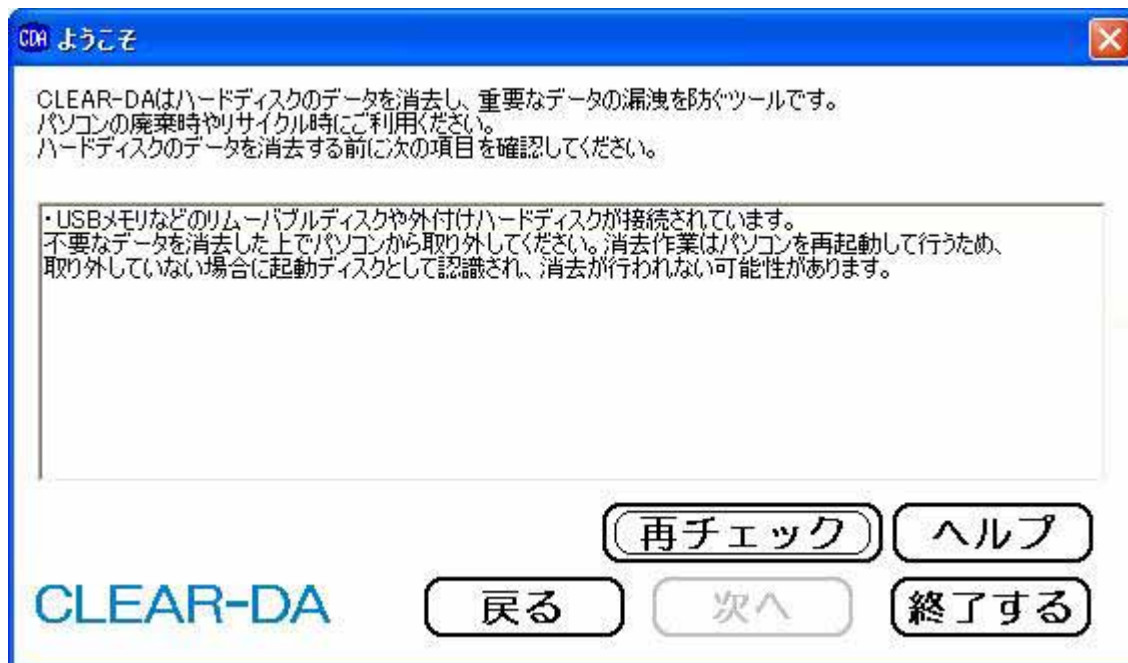


5 - 2 . CLEAR-DA 画面

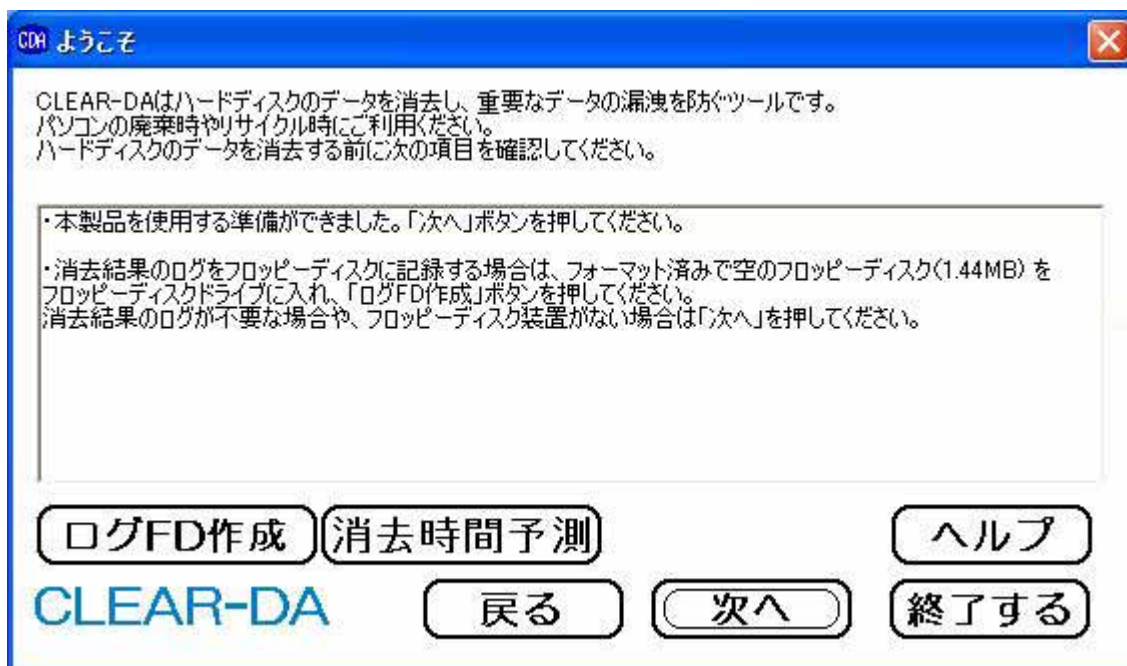
- (1) CLEAR-DA の画面操作について説明します。はじめに、消去する前の注意事項がボックスに表示されますので確認してください。確認ができたなら「次へ」を押してください。



- (2) パソコンの状態をチェックします。以下のように「再チェック」ボタンが表示された場合は、ボックスの内容を確認して処置を行った後、「再チェック」を押してください。

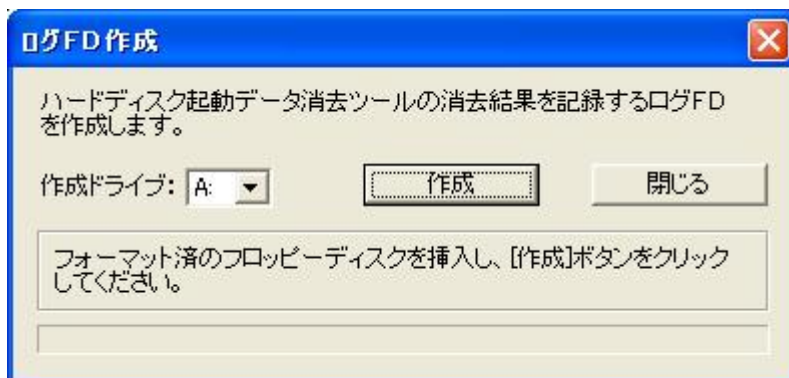


- (3) 「本製品を使用する準備ができました。「次へ」ボタンを押してください。」とボックスに表示されます。「次へ」を押すと、消去方法の選択画面に進みます。

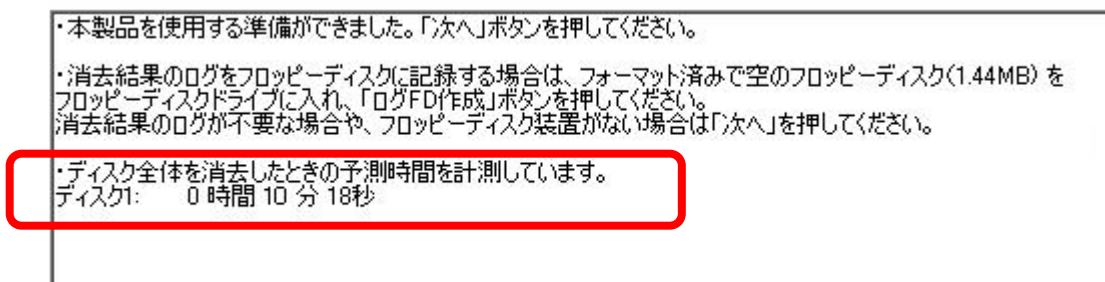


「ログ FD 作成」ボタン、「消去時間予測」ボタンは、必要に応じて操作してください。

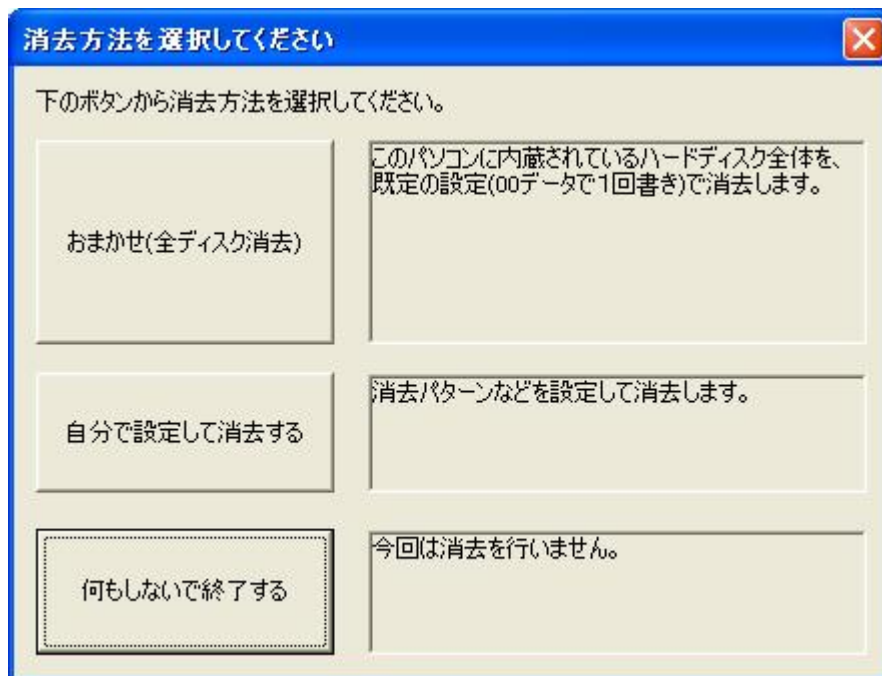
・「ログ FD 作成」ボタンを押すと以下の画面が表示されます。消去結果をフロッピーディスクに記録したい場合は、「作成」ボタンによりあらかじめログ FD を作成してください。(1.44MB のフロッピーディスクを使用してください。)



・「消去時間予測」ボタンを押すと、消去時間を予測することができます。数秒間計測した後、予測時間がボックスに以下のように表示されます。(予測時間はあくまで目安です。他のプログラムが動作していると、実際よりも時間が大きくなる場合があります。)



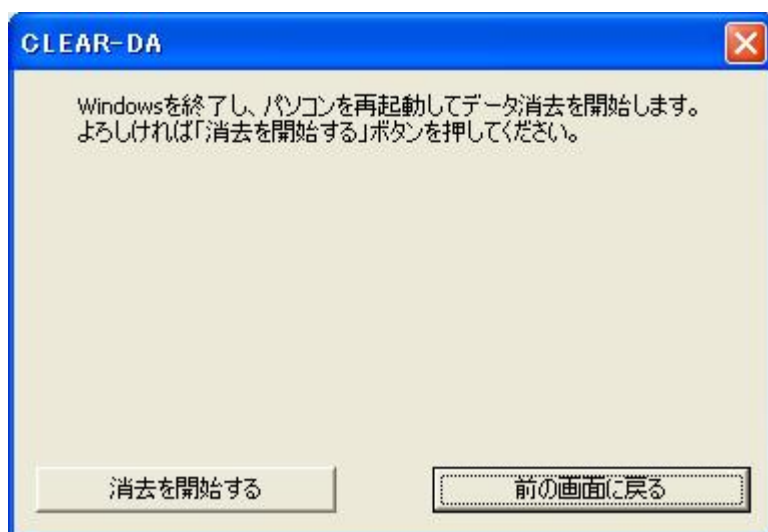
- (4) 消去方法を選択してください。「おまかせ」を選択すると、既定の設定(ハードディスク全体を00データで1回書き)でパソコンの全内蔵ディスクを消去します。消去パターンを設定したいときは「自分で設定して消去する」を選択してください。



5 - 3 . 「おまかせ」で消去する

消去方法の選択画面で「おまかせ」を選択すると、消去前に以下の画面を表示します。

「消去を開始する」を押すと、パソコンを再起動して消去が始まります。ハードディスクのデータは消去され回復できなくなります。Windows も起動しなくなりますので、必要なデータは別のメディアに保存されていることを確認してください。また、本説明書も見ることができなくなりますので、印刷しておいてください。



5 - 4 . 「自分で設定して消去する」で消去する

消去方法の選択画面で「自分で設定して消去する」を選択すると、以下の消去設定画面を表示します。

消去設定

消去対象 ブートセクタ

消去	ディスク名	論理ドライブ	ディスク番号	容量
<input type="checkbox"/> 可	SAMSUNG SP0411C	CDE	00H	39999MB
<input type="checkbox"/> 可	全ハードディスク(BIOS認識)			

ディスク情報

設定

消去パターン 1回書:00

読出チェック

名前 機種名

メモ

名前、機種名、メモを含めて設定内容は消去ログに表示されますので個人情報にご注意ください。

消去対象を次から選択します。現在は起動ハードディスク(全領域)のみ選択できます。

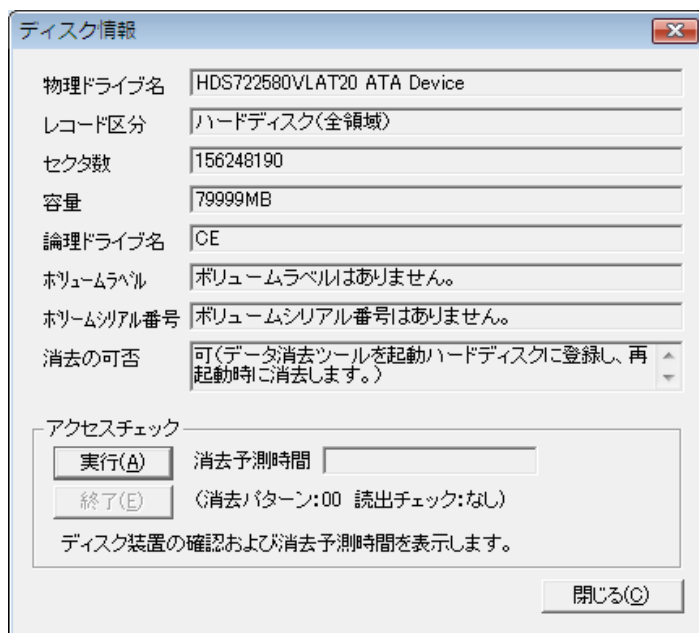
消去対象	内容
起動ハードディスク(全領域)	起動ハードディスクの全領域を消去対象とします。 または内蔵されている全ハードディスク(4台まで)の全領域を消去対象とします。 注意： 起動ハードディスク以外の内蔵ハードディスクは表示されず、消去する/しないの選択もできません。

5 - 4 1 . 起動ハードディスク(全領域)

起動ハードディスク(全領域)を選択したときにはボックスに以下の内容が表示されます。

項目	内容
消去	消去選択のチェックボックスおよび消去の可否を表示します。
ディスク名	ディスク名を表示します。
論理ドライブ	ドライブ名を表示します。ドライブ名が複数ある場合はその全てを表示します。ドライブ名がない場合は何も表示しません。
ディスク番号	本製品が使用するディスク番号を表示します。
容量	ハードディスクの容量を表示します。

起動ハードディスクをクリックして選択すると「ディスク情報」ボタンが有効になりディスク情報を表示することができます。



項目	内容
物理ドライブ名	ディスク名を表示します。
レコード区分	「ハードディスク(全領域)」を表示します。
セクタ数	セクタ数を表示します。
容量	容量を表示します。
論理ドライブ名	ドライブ名を表示します。ドライブ名が複数ある場合はその全てを表示します。
ボリュームラベル	「ボリュームラベルはありません。」を表示します。
ボリュームシリアル番号	「ボリュームシリアル番号はありません。」を表示します。
消去の可否	内容
可(データ消去ツールを起動ハードディスクに登録し、再起動時に消去します。)	消去可能です。
否(ディスク容量を超えたセクタが存在します。)	別のOSでフォーマットしたディスクの可能性があります。フォーマットしたOSで本製品を再起動してください。

- (1) アクセスチェック内の[実行]ボタンをクリックすると、設定した消去パターンおよび読出チェックでの消去予測時間を表示します。予測時間は目安であり、実際の消去時間は前後することがあります。
- (2) [終了]ボタンをクリックすると、アクセスチェックを終了します。
- (3) [閉じる]ボタンをクリックすると、起動画面に戻ります。

5 - 4 2 . その他の設定値の変更

以下の赤線で囲まれた部分の設定値を変更します。

消去設定

消去対象: 起動ハードディスク(全領域) | ブートセクタ: 消去する

消去	ディスク名	論理ドライブ	ディスク番号	容量
<input type="checkbox"/> 可	IC25N060ATMR04-0	CDFG	00H	60011MB
<input type="checkbox"/> 可	全ハードディスク(BIOS認識)			

設定

消去パターン: 00 | 1回書00 | ユーザ指定

読出チェック: なし | 初期化

名前: | 機種名: |

メモ: |

名前、機種名、メモを含めて設定内容は消去ログに表示されますのでご注意ください。

消去開始 | 戻る

項目	内容
消去パターン	消去パターンを設定します。
ユーザ指定	ユーザ指定データを設定します。
読出チェック	データ消去後の読出チェックを設定します。
名前、機種名およびメモ	名前、機種名およびメモを必要に応じて入力します。
初期化	設定値を初期化します。

消去パターン

- (1) [消去パターン]のコンボボックスをクリックし、消去パターンを選択します。コンボボックスの右側に書き込み回数および消去パターンを表示します。

消去パターン	内容	書き込み回数: パターン
00	00 パターンの書き込み	1 回書: 00
FF	FF パターンの書き込み	1 回書: FF
ユーザ指定	ユーザ指定データの書き込み	1 回書: ユーザ指定 (xx) (xx) は指定データ (16 進 2 桁) またはランダム
NSA 標準	2 種類のランダムと 00 パターンの書き込み	3 回書: ランダム 1-ランダム 2-00
旧 NSA 標準	FF,00,FF,00 パターンの書き込み	4 回書: FF-00-FF-00
DoD 標準	00,FF,ユーザ指定データの書き込み	3 回書: 00-FF-ユーザ指定(xx)
Nato 標準	00,FF,00,FF,00,FF,ユーザ指定データの書き込み	7 回書: 00-FF-00-FF-00-FF-ユーザ指定(xx)
DoD 新標準	00,FF, ランダムの書き込み 読み出しチェック	3 回書: 00-FF-ランダム
ランダム	ランダムパターンの書き込み	1 回書: ランダム
ランダム	ランダム,00 パターンの書き込み	2 回書: ランダム-00

ユーザ指定データ

ユーザ指定データは消去パターンが「ユーザ指定」、「DoD 標準」または「Nato 標準」のときの最後の書き込みデータとなります。

- (1) [ユーザ指定]ボタンをクリックすると、「ユーザ指定データの編集」のウィンドウが表示されます。
- (2) [データパターン]のコンボボックスをクリックし、データパターンの選択をします。

データパターン	内容
指定データ	データパターンは指定データとします。
ランダム	データパターンはランダム(乱数)とします。

- (3) 指定データは[指定データ]のテキストボックスに16進2桁を入力します。



- (4) [設定]ボタンをクリックすると、ユーザ指定データを登録し、起動画面に戻ります。
- (5) [キャンセル]ボタンをクリックすると、ユーザ指定データを登録しないで、起動画面に戻ります。

読出チェック

[読出チェック]のコンボボックスをクリックし、読出チェックを選択します。

読出チェック	内容
なし	消去後の読み出しチェックを実施しない。
全セクタ	消去後の読み出しチェックを全セクタ実施する。
1パーセント	消去後の読み出しチェックを1パーセント実施する。

名前、機種名およびメモ

[名前]、[機種名]および[メモ]のテキストボックスは必要に応じて入力します。

項目	内容
名前	本製品の使用者名(又は消去実施担当者名)
機種名	消去実施コンピュータの機種名/製造番号
メモ	メモ

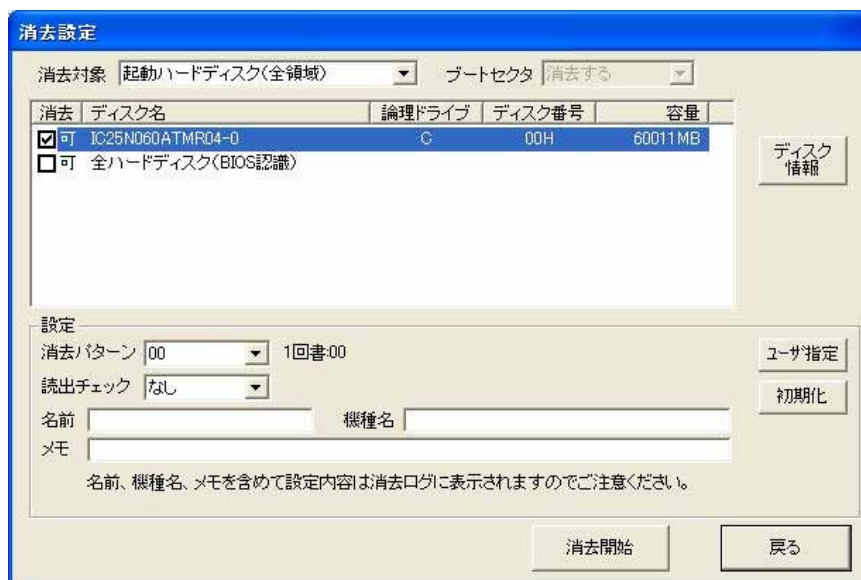
設定値の初期化

[初期化]ボタンをクリックすると、確認のメッセージボックスが表示されます。[OK]ボタンをクリックすると設定値を初期化します。

5 - 4 3 . データ消去の開始

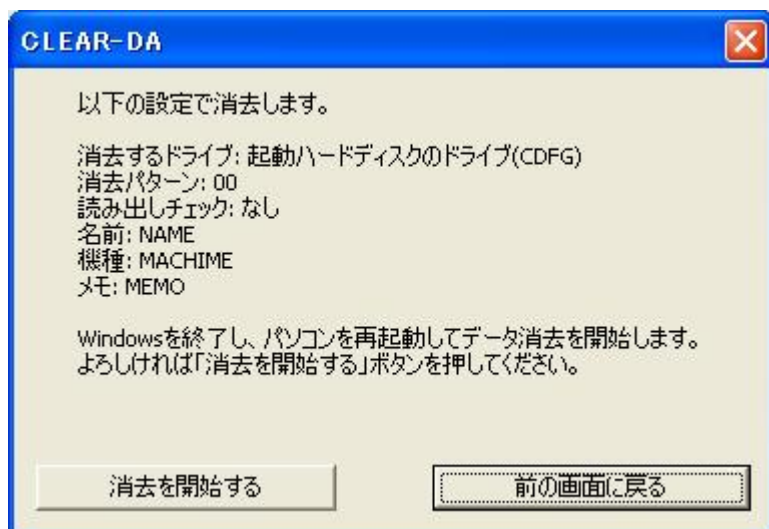
起動ハードディスク(全領域)

リストボックス内のディスクのチェックボックスをクリックし、チェックを入れます。選択できるのは、起動ハードディスクのみか、内蔵全ハードディスクの2通りです。チェックを入れると「消去開始」ボタンが有効になります。



「消去開始」ボタンをクリックすると、以下の画面(例)が表示されます。確認後、「消去を開始する」ボタンをクリックしてください。

「消去を開始する」を押すと、パソコンを再起動して消去が始まります。ハードディスクのデータは消去され回復できなくなります。Windows も起動しなくなりますので、必要なデータは別のメディアに保存されていることを確認してください。また、本説明書も見ることができなくなりますので、印刷しておいてください。

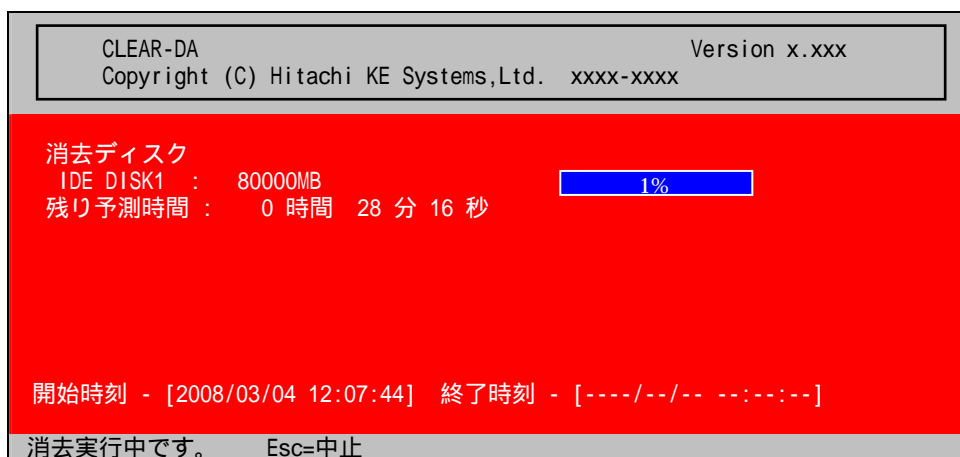


5 - 5 . データ消去画面

(1) Windows が終了し、パソコンが再起動すると自動的に消去画面(背景色:赤)が表示され、データの消去が始まります。再起動しない場合は、手動でパソコンを起動してください。

再起動で消去画面が表示されない場合は、リムーバブルディスク(フロッピーディスク、USBフラッシュメモリ等)が挿入されている可能性があります。リムーバブルディスクを抜き取り、再起動してください。

[消去画面]



消去途中で中止すると、再起動時に消去作業は初めからやり直しになりますので、ご注意ください。

残り予測時間は、複数ディスクの消去を行っている場合は、全体の消去予測時間です。ひとつのディスクの消去が終わる毎に再計測します。

読み出しチェックを1%指定した場合(「おまかせ」設定では関係ありません。)、進捗は50%までが消去、残り50%が読み出しチェックです。読み出しチェック時間は残り予測時間に対して大幅に短くなる場合があります。

(2) データ消去が完了すると背景色は緑(エラーがあった場合は紫)になり、最下行に次のメッセージが表示されます。

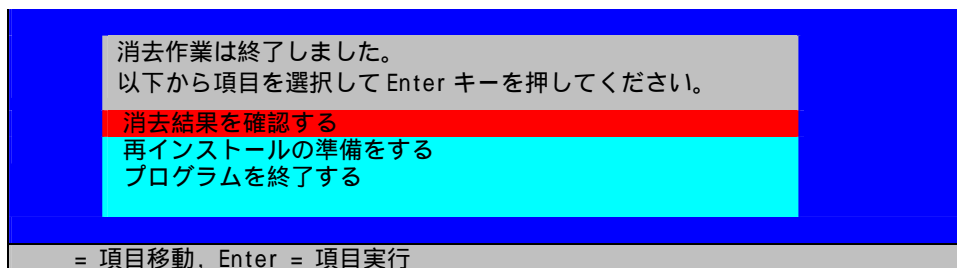
データ消去が終了しました。どれかキーを押してください。

任意のキー入力で次の画面に移ります。

5 - 6 . データ消去終了画面

データ消去が終了し任意のキーを押すと、以下の画面を表示します。

[データ消去終了画面]



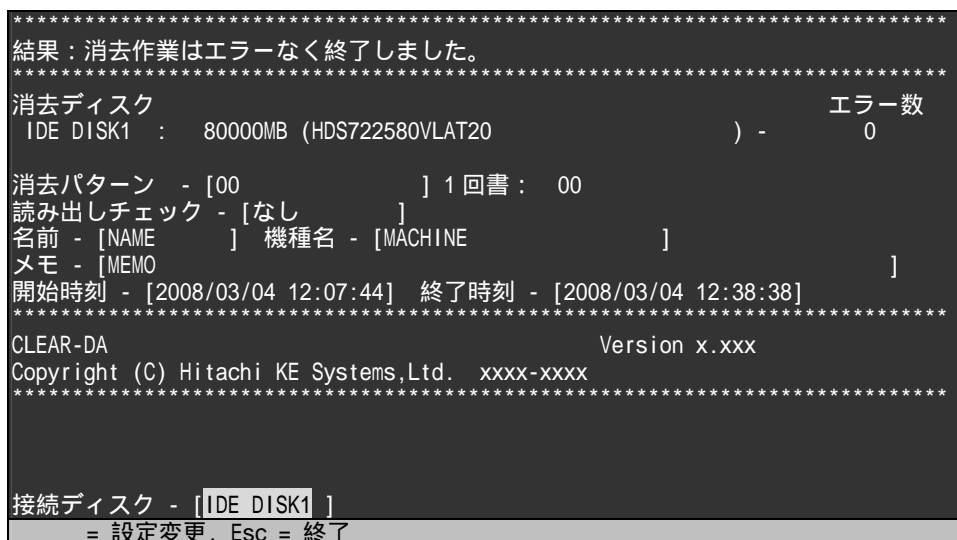
5 - 6 - 1 . 消去結果を確認する

キーで「消去結果を確認する」を選択し、Enter キーを入力すると以下のサブメニューを表示します。

サブメニュー	内容
消去結果のログを表示する	消去ログを表示します。
消去結果のログをフロッピーディスクに保存する	消去ログをフロッピーディスクに保存します。
ディスクのデータを表示する	ハードディスクのデータを表示します。

[消去結果を確認する]

消去結果を確認します。複数のディスクを消去した場合、接続ディスクの変更を行うことで各ディスクの消去結果を確認することができます。



* 名前、機種名、メモは、「おまかせ」消去では表示されません。また、「自分で設定して消去する」で名前、機種名、メモのすべてで設定がなかった場合も表示されません。

[消去結果のログをフロッピーディスクに保存する]

上記の消去結果をフロッピーディスクに保存します。

「ログ FD またはフォーマット直後の FD を挿入してください」と表示されたら、フロッピーディスクをフロッピードライブに入れて「はい」を選択してください。フロッピーディスクに結果がテキスト形式で書き込まれ、別のマシンで参照することができます。

「フロッピーディスク装置の検出ができません。どれかキーを押してください。」と表示された場合、以下を確認してください。BIOS の設定については、パソコンのマニュアルをご覧ください。

- (1) フロッピーディスク装置がパソコンに存在し、BIOS の設定で有効になっていること。
- (2) USB のフロッピーディスク装置の場合、USB が BIOS の設定で有効になっていることと、パソコンを起動したときに USB のフロッピーディスク装置が接続されていること。(パソコンを起動するとき、フロッピーディスクは装置から抜いてください。)

[ディスクデータを表示する]

接続ディスクを選択し、実際に消去が行われているかどうか確認することができます。



5 - 6 - 2 . 再インストールの準備をする

ハードディスクに記録された消去ログおよび CLEAR-DA プログラムを消去し、再インストールに備えます。必要に応じて実行してください。

5 - 6 - 3 . プログラムを終了する

CLEAR-DA プログラムを終了します。「プログラムを終了します。」メッセージが表示されたら、「電源を切る」「再起動」「キャンセル」から選択してください。「電源を切る」を選択して自動的に電源が切れない場合は、電源ボタンを押し続けて電源を切ってください。

5 - 6 - 2 「再インストールの準備をする」を実行していない場合は、パソコンを再起動するとデータ消去終了画面が表示されます。「再インストールの準備をする」を実行している場合は、再起動しても何も動作しません。

6. Q&A

[消去作業中]

No.	Q(質問)	A(回答)
1	長時間残り予測時間に変化がない	消去作業が動作していないように見える場合、パソコンが高温で動作できない状態にある可能性があります。パソコンの通風孔がふさがっていないか、ホコリがたまっていないか、気温が高温でないかなどをご確認ください。その後パソコンを再起動して同じ現象ならば、このディスクは消去できません。ハードディスクを破壊してください。
2	画面が消える	BIOS の省電力モードになっている場合があります。[Shift]キーを押して復帰するか確認してください。復帰しない場合、パソコンの説明書をご確認の上、パソコンを再起動して、BIOS の省電力設定を省電力に入らない設定にしてください。

7. お問い合わせ等

お問い合わせ先

株式会社 日立ケーイーシステムズ
 HP URL <http://hke-store.jp/index.html>

登録商標等

- ・PC / ATは米国IBM Corp.の商標です。
- ・Windowsは米国Microsoft Corp.の米国及びその他の国における登録商標です。
- ・CLEAR - DAは株式会社日立ケーイーシステムズの登録商標です。
- ・本製品は日本国内仕様であり、弊社では海外での保守サービス及び技術サポートはおこなっておりません。
- ・本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法並びに米国の輸出管理関連法律などの規制をご確認のうえ必要な手続きをお取りください。
- ・記載されている製品の内容は予告なしに変更する場合があります。